

令和6年度岡山県職業訓練実施計画の策定に向けた方針（案）

令和5年度計画と同程度の規模で人材を育成

実施状況 の分析

①応募倍率が低く、就職率が高い分野

（令和4年度実績に該当する訓練分野）
「介護・医療・福祉分野」

- ・ 応募、受講しやすい募集、訓練日程の検討が必要。
- ・ 訓練コースの内容や効果を踏まえた受講勧奨の強化。

②応募倍率が高く、就職率が低い分野

（令和4年度実績に該当する訓練分野）
「デジタル分野」「営業・販売・事務分野」

- ・ 求人ニーズに即した効果的な訓練内容の検討が必要。
- ・ 就職率向上のため、受講希望者のニーズに沿った適切な訓練を勧奨できるようハローワーク訓練窓口職員の知識の向上や事前説明会・見学会の機会確保を図るとともに、訓練修了者の就職機会の拡大に資するよう訓練修了者歓迎求人等の確保を推進する等の取組推進が必要。

計画と実 績の乖離

③求職者支援訓練のうち基礎コースはR4年度計画では認定規模の30%程度としていたが、実績は3.7%。

- ・ 就労経験が少ない者等の就職困難者には、社会人としての基礎的能力を付与する基礎コースが有効。このため、基礎コースの設定を推進するとともに、実態を踏まえた計画の策定が必要。

人材ニ ーズを踏 まえた設 定

④デジタル人材が質・量とも不足。（デジタル田園都市国家構想総合戦略）

- ・ 職業訓練のデジタル分野への重点化を進め、一層の設定促進が必要。
- ・ デジタルリテラシー人材の育成も必要。

⑤協議会で情報提供された人材ニーズ

- ・ 協議会での意見を踏まえ対応を検討。
- ・ デジタルリテラシー人材の育成も必要。（再掲）
※特にキーパーソンとなる人材の育成が必要。